

溶出試験

プラシルカストカプセル 112.5mg 「NIG」

溶出試験条件

装置	日本薬局方 溶出試験法 パドル法	液量	900mL	温度	37±0.5℃
----	------------------	----	-------	----	---------

溶出試験結果

回転数	試験液	判定
100rpm	pH1.2	標準製剤及び本品はほとんど溶出せず，両製剤の類似性が認められた。
	pH4.0	標準製剤が 360 分における平均溶出率の 1/2 の平均溶出率を示す適当な時点及び 360 分において，本品の平均溶出率は標準製剤の平均溶出率±9%の範囲にあった。
	pH6.8	標準製剤の平均溶出率が 40%及び 85%付近の 2 時点において，本品の平均溶出率は標準製剤の平均溶出率±15%の範囲にあった。
	水	標準製剤が 360 分における平均溶出率の 1/2 の平均溶出率を示す適当な時点及び 360 分において，本品の平均溶出率は標準製剤の平均溶出率±9%の範囲にあった。

プラシルカストカプセル 112.5mg 「NIG」 の溶出挙動を標準製剤（オノンカプセル 112.5mg）と比較した結果，上記全ての条件において「生物学的同等性試験ガイドライン」の判定基準に適合した。

